

令和元年 第18回教育委員会 会議録

招集年月日	令和元年11月29日
招集場所	日南町役場 第3会議室
開 会	午前11時30分 教育長宣告
出席委員	伊田教育長 須田教育委員 中村教育委員 中島教育委員
欠席委員	長谷川教育委員
議 案	

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
報告・協議	教育長 教育長 教育長	<p>第18回教育委員会を開会します。</p> <p>議事録署名委員は中島委員。</p> <p>○北の原駐車場について</p> <p>※資料により内容説明</p> <p>議会全員協議会が11月26日に行われた。北の原駐車場は当初予算で3,300万円で通ったもの。設計管理の予算を6月補正で付けて頂き、9月に業者から設計が届いた。当初、約30台という説明をしていたが、実際14台ということだったので、全員協議会で経過説明と資料提供をした。砂防の道の北側が県の土地になっており、県の土地を活用すると、もう少し山側に駐車スペースができるのではないか、という案が直前に出て、県の担当者とのやり取りが始まったばかりなので、その状況を伝えて相談するという立場で話をしていた。議論の中で、議員の方から、費用対効果について指摘され、1年間の駐車台数の数値も求められた。1番多かったのが小学校の運動会で約500名の参加者があったが、周辺の駐車場も使い、困ったという苦情は無かったと返答した。1台分の費用対効果について疑問があるので、今すぐではなく、時期を見送ってみるのはどうかという提案も頂いた。議員から、イベントでも支障が無かったのではないかという意見を頂いたり、県の占用の願いを出しているので来年度への繰</p>

	<p>り越しを検討してはどうか、というような意見が多数出た。副議長から、当初予算を通した議会の責任もある、執行する側の責任と議会の責任について反省すべきであろうという意見も頂いた。最終的に全員協議会の中では、いろいろと使い道が広がっていくかもしれないという形で話を切り上げた。その後、議員間討議が入り、全会一致で中止すべきという意見がまとまったということで報告を聞いた。理由として、当初の予算説明と状況が変わっている、当初30台という説明だったものが14台となり、設計をする必要性が認められない、ということだと聞いた。県の用地の件がはっきりしていない状況で、議員から中止すべきという意見を頂いたことに対し、待つて頂きたいという気持ちもあり、ただ、全会一致という意見を頂いたことについては、受け止めるという形でその場を治めている。経過は以上です。</p>
事務局	<p>14台となっているのは、駐車場設計施行指針に基づいて測量設計してもらったもので、当初の30台というのは、区画割りで出したもの。今度、県が現場を見に来るので、事務局も立ち会う。</p>
教育長	<p>当日、町長が不在だったので、町長と相談して、執行部として今後の対応について相談させて頂くということで、議長との話は終わっている。</p>
教育委員	<p>本会議ではないので、法的な手続きにはならないが、議会全員が一致したということは重く受け止めるべき。我々が反省しなければいけないのは、9月に設計業者から提示があったものに対する説明が教育委員会でされていないということ。事務局をチェックする我々も反省していかなければいけないし、提示がなかったことについて指導しておくべきだと思う。本当の意味で情報共有するということは、即時報告、行動ということ。県との協議ということだが、現地を見て残地を見てみても、4台や5台の話ということ。我々教育委員会サイドとすれば、総合グラウンド利用に対する駐車場という見方をした時に、文化センターの駐車場を総合グラウンドの駐車場として位置付けで考えていくということでない、絶対数は足りるわけがない。小中学校の前庭、後ろ、テニスコートということになると、文化センターを除いて何台分あるか。</p>
事務局	<p>武道館の横も含めて169台です。</p>
教育委員	<p>169台停められるということになれば、文化センターの駐車場を約100台足せば、約300人が回せる。</p>
事務局	<p>文化センター下側は約170台です。</p>
教育委員	<p>現状で回らないことはないということか。</p>

教育長	歩いて頂くという前提で、そこを了解して頂きながら、駐車スペースを確保して、そこに停めて頂くということではない。小学校前の駐車スペースに横付けにするのはあまり良くないと思っているので、子ども達の居る所には駐車しないという方針を出しながら、その部分をどうするか、というところで、テニスコートの駐車場が認知されていない状況があり、表示を出すなど工夫していかないといけない。
教育委員	テニスコートの駐車場は何台止められるか。
事務局	約25台です。
教育委員	予算主義をとって、当初予算で議決したから、これに拘るということは必要は無い。事情が変わっているのだから、それに合わせて変更していけばいい。事業そのものを拘って進めていく必要は、今の説明を受けて個人的に感じない。
教育長	駐車場設計施行指針に基づく測量設計の上での予算要求ではなかったという、こちらの課題は私達も反省すべきということで、全員協議会の中でも話をしている。今後、予算を提案するときの確実性、信憑性についてきちんとしないと同じことが繰り返されると反省している。もう一つ、手法の疑義については、執行部と相談し、委員の考えを聞きながら申し入れをしていかななくてはならないと思う。
教育委員	当初予算の提案の資料で、信憑性に欠けることは大いに反省しないといけない。
教育委員	せっかくの土地なので、駐車場は止めたにしても、将来活用しなければいけない場面が出てくる。県として、用途が変更になっても貸してもらえるか詰めておいた方がよい。
教育長	全協の中でも、駐車場にするかしないかというだけでなく、跡地利用の問題も含まれているので、そこも検討をという話をした。
教育委員	委員の意見を言うと、この事業については、止むを得ないということが多数のようだが、今度は、これを中止するタイミングと理屈が必要。
教育長	そうは言っても、町長はここは活用すべきという立場でおられ、かたや議会は中止と言っておられ、いくらならいいかという議論にもなって、跡地利用も町としての判断をしなくてはならない。駐車場として活用するのか、きちんと整備はしないけれども、車が止められる程度の整備は必要だということもあるの、もう少し意見を詰めていかななくてはならない。
教育委員	事業中止にしても、何に使うにしても柵をすることは考えておかないといけない。
教育長	跡地利用としての活用も考える必要があるということの意見を教育委員会として出すということによる

教育委員	しいでしょうか。このまま放置するということにはならないのではないか、という意見です。
教育長	駐車場に拘るものではないが、活用していかなくてはいけないという方向。 教育委員会として、駐車場だけではなく、跡地利用をきちんと整備するという御意見をまとめます。当初予算の在り方、議会の全協でのやりとりの進め方についても、執行部と合わせてさせていただくということで、委員の同意を頂いたということを執行部に報告します。よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	○教育委員会の開催予定について 次回、教育委員会を12月9日懇話会終了後に開催します。
事務局	○総合教育会議について 12月5日の総合教育会議は、「保小中の連携における10年間の検証と今後に向けて」というテーマで進めます。
教育長	これで第18回教育委員会を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員